

# 平成 28 年度 錦田小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

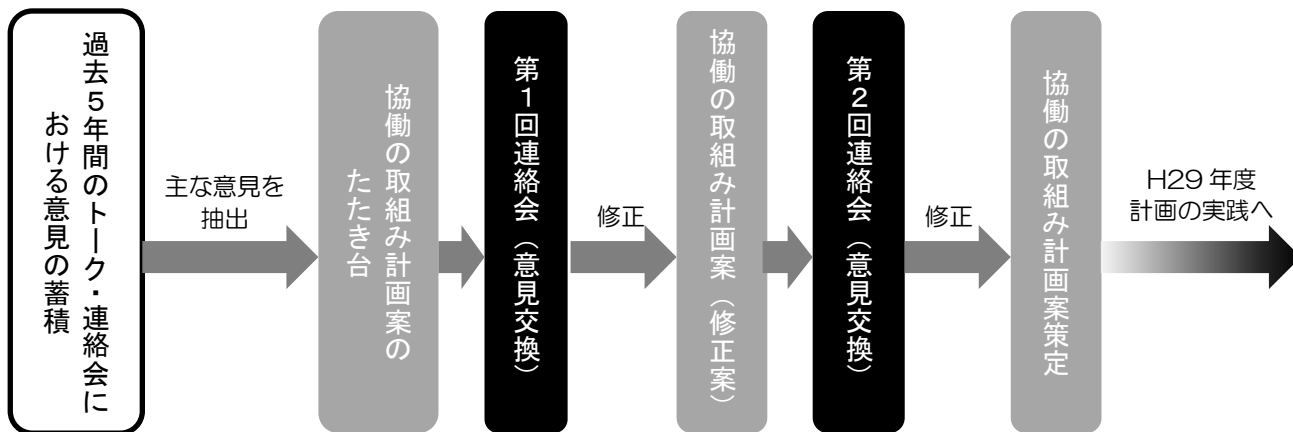
5月31日（火）に開催された「錦田小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

## ■開催概要■

日時	平成 28 年 5 月 31 日（火） 19:00～20:45		
会場	錦田公民館		
参加団体  (37名)	小山中島自治会 谷田自治会 御門自治会 竹倉自治会 玉沢町内会 押切町内会 桜ヶ丘町内会 東富士見自治会 並木自治会 緑ヶ丘自治会 塚原自治会	阿部野町内会 塚の台町内会 小山台自治会 柳郷地自治会 交通安全母の会 環境美化推進委員会 保健委員会 錦田保育園 消防団第6分団 錦田幼稚園及びPTA 桜ヶ丘幼稚園	錦田小学校 錦田小学校 PTA 錦田中学校 PTA 子ども会連合会 錦田小学校支援地域本部 小山中島子供会 押切子供会 御門子供会 民生委員・児童委員 三島こども食堂推進委員 ひまわり

## ■今年度の連絡会の流れ（予定）■



## 地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- ◆錦田小学校 PTA：運営委員会を年6回程度実施。活動内容の報告等を行う。  
毎月第一月曜日の登校時、通学路5か所にて登校指導を実施。
- ◆子ども会連合会：7/3(日)ドッチボール大会、10/15(土)親子で絵を描く会を開催予定。  
周囲の方にも参加を勧めてほしい。各自治会の子ども会が消滅の危機、未来の自治会の担い手となる子ども会のサポートをしてほしい。
- ◆錦田地区自治会連合会：10/30(日)錦田ふれあい広場を開催予定。ぜひご参加、ご協力下さい。
- ◆三島こども食堂推進委員：東小学校区でこども食堂が立ち上がった。錦田地区でも検討していただきたい。

## 意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

## こんな小学校区にしたい

### 【Aグループ】

#### ●あいさつ・声かけ

- ・お帰りの声をかける
- ・声をかけあえるまち錦田
- ・あいさつができる町
- ・子どもが誰とでもあいさつできる町

#### ●楽しい・笑顔

- ・笑顔があふれる楽しい街
- ・子どもが笑顔で生活できるまち
- ・楽しく笑顔の絶えない町
- ・ほほえみ

#### ●安心・安全

- ・安全、安心
- ・親が安心して送り出せる安全な校区

#### ●その他

- ・子ども達の行動に誰もが関心を持てる町
- ・支えのある町
- ・皆が楽しく集まれる地域
- ・田舎は田舎らしく！気取らないコミュニケーションのある地域

### 【Bグループ】

#### ●あいさつ・声かけ

- ・誰でもあいさつ
- ・あいさつで始まるつながり
- ・笑顔であいさつ

## お困りごと・現在の状況

	Aグループ	Bグループ
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが集える場に関する情報が入らない。</li> <li>・近所に同じ位の年齢の子どもが、どこにいるのか分からない。</li> <li>・園庭開放に参加してほしい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターの方に来てもらっている。野菜の育て方など、長く生きてこられた分、沢山の知恵を持っている。(幼稚園)</li> <li>・子どもと1人暮らしの老人との交流をどうやって作っていくか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の健全育成会が子ども会を運営。(東富士見)</li> <li>・自治会から子ども会へ補助金を拠出。中学生の自主的な祭りの手伝いあり。(押切)</li> <li>・子どもが主体となる活動がない。親が計画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会の入会者減少。</li> <li>・子ども会の役員の成り手がいない。</li> </ul>

	A グループ	B グループ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>責任が問われる時代。親も一緒に。見守りが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校で子ども達と一緒に花壇づくりを行っている。</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害現場は危険箇所が多い。</li> <li>中高生が自然に思いやる心で動くよう期待する。</li> <li>子ども達にも災害に対する知識を増やし、地域の方と交流を深めてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練へ小中学生は意外に参加する。</li> <li>中学生は学校側との連携で進んでいる。</li> <li>中学生の防災訓練の内容が問題。</li> <li>子どもが取り組む訓練を実施。</li> <li>小中学生の防災訓練の場所が少ない。</li> <li>災害時要援護者開示しない。</li> <li>個人情報<sup>の</sup>為、民生委員からの情報は入らない。</li> <li>民生委員が要援護者宅に伺った時、隣近所<sup>に</sup>お願いするようにしている。</li> </ul>
組織・団体の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の形が現在の時代に合っているのか？</li> </ul>	
あいさつ		<ul style="list-style-type: none"> <li>登校時のあいさつ運動は進んでいる。</li> <li>防犯パトロールを兼ね、下校時にあいさつ運動を実施している。(桜ヶ丘)</li> <li>あいさつしない大人がいる。</li> <li>不審者だと思われない腕章が必要。</li> <li>スクールガードが増えている。あいさつが活発な校区なので、高校生もあいさつがある。</li> <li>地域の人にあいさつするよう学校から指導している。</li> </ul>

## 取組みたいこと

子どもの健全な育成のある地域づくり		
	A グループ	B グループ
気軽に集える場	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達だけで集まって活動できる場所を自治会で考えてほしい。</li> <li>子育て中で家にこもっている親が、気軽に<sup>に</sup>出られる場<sup>を</sup>設ける。町内の祭り、どんど焼き等。</li> <li>おやつ会などは、気軽に<sup>に</sup>集まれ参加し<sup>やす</sup>い<sup>い</sup>のではない<sup>か</sup>。</li> </ul>	
高齢者の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの<sup>祖</sup>父母も参加できる子どもの活動(大会)を考える。</li> <li>高齢者<sup>を</sup>取り入れた自治体の活動が大切。</li> <li>シルバー世代の力を借りることは、相互の<sup>為</sup>にと<sup>と</sup>ても<sup>良</sup>い。</li> <li>地域の方に保育園で「〇〇先生」となってもらい園児と交流する。ベーゴマ、けん玉、物作り(工作)、すもうの指導など。退職者の活用。</li> </ul>	

子どもの健全な育成のある地域づくり		
	A グループ	B グループ
子ども会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会に<u>協力</u>してほしい。運営等分らないことは、子ども会連合会に相談してほしい。</li> <li>子ども会に未加入の子でも<u>誰でも参加できる活動</u>を取り入れても良いと思う。</li> <li>子ども会の役員は親だけでなくても良いと思う。祖父母など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>地域（自治会）との連携</u>が必要。</li> <li>子ども会役員に、祖父母は無理。</li> </ul>

災害弱者を守る地域づくり		
	A グループ	B グループ
中高生の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>中高生の災害時の活動</u>。危険を伴うケースが多い、大人が把握し、精神論が先行しない<u>ガイドライン作り</u>が大事。現状把握→子供へ指示。</li> <li>災害時に中高生が活躍する場面を確認する。</li> <li><u>防災訓練</u>に中高生が活躍できる場を作っていく。</li> <li>防災訓練に参加する小中高生を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高生は、救助よりも避難所での手伝いの方がいいのではないかと。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>親子防災キャンプ</u>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者の名簿作成への理解は難しい。個人の自由になってしまう。</li> <li><u>近所とコミュニケーション</u>をとる呼びかけ。</li> <li>訓練の場所を考えたい。広い場所を過去にも考えたが難しい。</li> <li>祝い金配布が負担になっている。</li> </ul>

組織・団体間の連携のある地域づくり		
	A グループ	B グループ
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>あいさつ</u>を互いにする。誰でもすぐにできる。</li> <li>年輩者を活用し、小学生に対して<u>あいさつ運動</u>をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>下校時</u>にもあいさつを増加させたい。</li> <li>あいさつは防犯になるので、大人から実施する。</li> <li>気軽にあいさつすると不審者だと思われる懸念がある。</li> <li>あいさつ、声かけしてよいかどうかの判断は？</li> </ul>

組織・団体間の連携のある地域づくり		
	Aグループ	Bグループ
具体的に連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの組織が連携することから始めてみる。</li> <li>・老人会と子ども会の連携の活性化。書道、囲碁、将棋などを教えてほしい。</li> <li>・自治会と体育振興会の連携を強化する。</li> <li>・自治会、子ども会、老人会が連携して活動する。</li> <li>・自治会と弱者を守る民生委員との協力。連携について確認、強化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の皆さま（自治会）との連携が大切。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・類似する事業や組織を統合させる事も大事。スリム化。</li> <li>・自治会の活動に参加することが大事。</li> <li>・まずは自治会内の連携が先。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携は負担になる。会合は無意味。</li> <li>・協議会が前提なのか？</li> <li>・協議会と学校支援地域本部との関わりは？</li> </ul>

### 意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

#### ◆こんな小学校区にしたい

- ・「あいさつ」や「声掛け」、「笑顔」、「安心・安全」などの言葉を組み合わせる。

#### ◆お困りごと・現在の状況

- ・あいさつに関する項目を追加する。
- ・「中学生は防災訓練に意外と参加しているが、内容が問題」という旨を追加する。

#### ◆取組みたいこと

##### <子どもの健全な育成のある地域づくり>

- ・「幼児を持つ親が集まることのできる場を設ける」について、町内の祭りやどんど焼き等を載せる。
- ・「子ども会の運営を役員だけでなく祖父母が担う」ことについて、課題が多いことから計画書から削除する。

##### <災害弱者を守る地域づくり>

- ・敬老祝い金に関する取組みは、制度の廃止が検討されていることや負担が大きいことから、計画書から削除する。
- ・要援護者の名簿作成は、個人の自由のため、拒否されたら作ることができない。そのため、計画書から削除する。

##### <組織・団体間の連携のある地域づくり>

- ・老人会と子ども会の連携で、書道、囲碁、将棋など具体的な内容を明記する。
- ・「団体間の連携が負担になる」との意見もあるため、「できることから始める」旨を明記する。